

# 湘南キャンパス在学生の 賃貸物件に対する価値判断の傾向に関する一考察

金ゼミナール

B5R11067 齊藤 剣洋

## 概要

本研究は文教大学湘南キャンパスに在籍する大学生を対象に大学入学を機に一人暮らしになった際、賃貸物件のどのような条件や設備に価値や魅力を感じ、重きをおくかについて、その傾向を調べたものである。

筆者は地方出身で本学入学と同時に一人暮らしをすることになったが、その賃貸物件を選択する際に1ヶ月の時間を要した。また親族や関係者に大学生や不動産関係者がいなかったため、選択した物件に全く自信が持てなかった。当時は内見するまで、選んだ物件の良し悪しは物件情報サイトの単純比較で判断するしか思いつかず非常に心細かった。筆者は選んだ物件がたまたま正解だったようで、現在のまでの約4年間は特に大きな不満はなかった。しかし、入学時に選んだ物件が不幸にも住みにくく引っ越しを行ったケースや、そう感じてあきらめざるを得ないというケースをよく耳にすることがある。

本研究は本学に入学し、一人暮らしとなる新入生に対してより早く、より満足度の高い物件を選択してもらうことに寄与するために行うものである。大きな精神的・金銭的・時間的負担となる入居時からの問題による在学中の転居をなるべく減少させることを目的とする。

傾向を調べた結果、一人暮らし経験の有無や年数で大きく変化する項目として「インターネット無料と対応」が挙げられた。一人暮らしの経験がない人ほど、インターネット無料に興味を示し、一方で経験がある人や歴が長くなるにつれ、興味が薄れていくことが読み取れた。

研究方法としては本学の湘南キャンパスの在學生にアンケートを行い、収集したデータを基にExcel、SPSS等を用いて分析した。

本論文の構成ははじめ概要やアンケートの説明を行う。その後、得られた結果の考察を行い、その傾向や特性を述べる。最後に参考文献を表記するといった流れで進める。